



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年11月9日

上場会社名 株式会社 リード  
コード番号 6982 URL <http://www.lead.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 元治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 田口 英美

TEL 048-588-1121

四半期報告書提出予定日 2022年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,376	33.7	56		87		80	
2022年3月期第2四半期	1,776		217		150		153	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	31.45	
2022年3月期第2四半期	59.85	

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2023年3月期第2四半期	8,137		2,491		30.6	
2022年3月期	8,144		2,395		29.4	

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,491百万円 2022年3月期 2,395百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期				5.00	5.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

### 3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,800	21.1	90		120		100		38.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	2,632,960 株	2022年3月期	2,632,960 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	60,370 株	2022年3月期	60,370 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	2,572,590 株	2022年3月期2Q	2,572,590 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和されつつあり、経済活動は徐々に回復の兆しが見え始めているものの、新型コロナウイルスの再拡大懸念、世界的な半導体供給不足やウクライナ情勢などに伴う急激な円安の進行、原材料価格や原油価格の上昇等により、いまだ先行き不透明な状況にあります。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年同月比7月が13.1%増、同8月が18.1%増、同9月が138.7%増と増産が続いております。

このような経済環境の中で当第2四半期累計期間の売上高は、自動車用部品部門において、半導体供給不足の影響が当初計画に比べ緩和され、受注が増加したことを主因に、2,376百万円(前年同期比33.7%増)となりました。

損益面につきましては、原材料価格や電気料の上昇等圧迫要因があった半面、人員配置の適正化や物流コストの効率運用等、生産性の改善が大きく寄与し、営業利益は56百万円(前年同期は営業損失217百万円)と黒字を確保いたしました。

営業外収益は受取配当金10百万円、受取賃貸料19百万円、助成金収入25百万円等により59百万円、営業外費用は支払利息23百万円等により29百万円を計上し、経常利益は87百万円(前年同期は経常損失150百万円)と黒字計上いたしました。また、特別利益は投資信託を売却し投資有価証券売却益12百万円を計上しました。その結果、四半期純利益は80百万円(前年同期は四半期純損失153百万円)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

#### ①自動車用部品

当セグメントの売上高は、半導体供給不足の影響が徐々に緩和され、受注が増加したことから、2,188百万円(前年同期比37.4%増)となりました。

損益面につきましては、原材料価格や電気料の高騰があったものの、人員配置の適正化や物流コストの削減等、生産性改善が進んだことから、セグメント利益(経常利益)は、81百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)152百万円)となりました。

#### ②自社製品

当セグメント全体の売上高は、187百万円(前年同期比1.8%増)となりました。内訳としては、電子機器部門が新規先や既存先に対する営業強化やカタログ品の価格改定等が奏功し95百万円(前年同期比23.7%増)となりました。一方、駐輪部門においては、受注した大型の官公庁や駅等の工事を伴う案件の検収時期が下期のものが多かったことから、当第2四半期累計期間に計上される売上高は91百万円(前年同期比14.0%減)に留まりました。

損益面につきましては、セグメント損失(経常損失)は7百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)14百万円(内電子機器部門はセグメント損失(経常損失)3百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)15百万円)、駐輪部門はセグメント損失(経常損失)3百万円(前年同期はセグメント利益(経常利益)1百万円))となりました。

#### ③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は賃料改定により、13百万円(前年同期比12.2%減)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前期末比7百万円減少し8,137百万円となりました。

#### ・資産

流動資産は、現金及び預金が30百万円、受取手形及び売掛金が14百万円、電子記録債権が30百万円増加し、その他のうち未収入金が18百万円減少したこと等から57百万円増加し2,994百万円となりました。

固定資産は、機械及び装置が32百万円、建設仮勘定が82百万円増加し、建物が38百万円、工具、器具及び備品が64百万円、リース資産が113百万円減少したこと等から有形固定資産は102百万円減少し4,331百万円となり、また、投資有価証券が35百万円増加したこと等から投資その他の資産は37百万円増加し808百万円となりました。その結果、固定資産全体では64百万円減少し5,142百万円となりました。

#### ・負債

流動負債は、支払手形及び買掛金が36百万円、未払金が11百万円、未払法人税等が17百万円、賞与引当金が10百万円増加し、短期借入金が79百万円、その他のうちリース債務が10百万円、未払消費税等が18百万円及び設備関係支払手形が10百万円減少したこと等から39百万円減少し2,702百万円となりました。

固定負債は、その他のうち繰延税金負債が12百万円増加し、長期借入金が13百万円、その他のうちリース債務が57百万円減少したこと等から63百万円減少し2,943百万円となりました。その結果、負債全体では103百万円減少し5,645百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が12百万円、第2四半期純利益が80百万円となり利益剰余金が68百万円増加し、また、その他有価証券評価差額金が27百万円増加したことから95百万円増加し、その結果、純資産額は2,491百万円となりました。これにより自己資本比率は30.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績見通しにつきましては、前回公表しました業績予想を上方修正しております。詳細につきましては、本日公表した「2023年3月期通期業績及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,710,079	1,740,335
受取手形及び売掛金	502,197	516,678
電子記録債権	327,066	357,293
製品	81,515	69,092
仕掛品	27,635	28,303
原材料及び貯蔵品	173,529	183,772
その他	115,651	99,205
貸倒引当金	△140	△120
流動資産合計	2,937,535	2,994,561
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,454,954	1,416,324
構築物(純額)	43,555	40,233
機械及び装置(純額)	450,635	483,431
車両運搬具(純額)	6,213	8,765
工具、器具及び備品(純額)	285,553	221,316
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産(純額)	510,316	396,415
建設仮勘定	24,378	106,943
有形固定資産合計	4,433,475	4,331,301
無形固定資産		
ソフトウェア	612	1,076
リース資産	2,760	2,040
無形固定資産合計	3,372	3,116
投資その他の資産		
投資有価証券	686,421	721,426
その他	85,990	92,425
貸倒引当金	△1,840	△5,620
投資その他の資産合計	770,571	808,232
固定資産合計	5,207,418	5,142,650
資産合計	8,144,954	8,137,212

(単位:千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	244,340	281,180
短期借入金	1,579,978	1,500,245
未払金	608,445	620,319
未払法人税等	6,718	23,985
賞与引当金	20,000	30,000
その他	282,946	246,858
流動負債合計	2,742,428	2,702,589
固定負債		
長期借入金	1,945,934	1,932,580
退職給付引当金	62,313	60,201
資産除去債務	50,754	50,764
その他	947,544	899,632
固定負債合計	3,006,547	2,943,179
負債合計	5,748,976	5,645,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	211,245	211,245
利益剰余金	371,129	439,182
自己株式	△31,746	△31,746
株主資本合計	1,208,868	1,276,921
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	213,525	240,938
土地再評価差額金	973,583	973,583
評価・換算差額等合計	1,187,109	1,214,522
純資産合計	2,395,977	2,491,443
負債純資産合計	8,144,954	8,137,212

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	1,776,465	2,376,009
売上原価	1,733,784	2,031,370
売上総利益	42,681	344,639
販売費及び一般管理費	259,887	287,656
営業利益又は営業損失(△)	△217,206	56,982
営業外収益		
受取利息	70	51
受取配当金	10,372	10,716
受取賃貸料	22,042	19,980
助成金収入	61,303	25,056
その他	3,563	4,096
営業外収益合計	97,351	59,901
営業外費用		
支払利息	25,364	23,548
その他	5,651	5,634
営業外費用合計	31,015	29,182
経常利益又は経常損失(△)	△150,869	87,701
特別利益		
投資有価証券売却益	16	12,481
特別利益合計	16	12,481
特別損失		
固定資産除却損	2,695	757
特別損失合計	2,695	757
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△153,548	99,425
法人税、住民税及び事業税	410	18,515
法人税等調整額	20	△5
法人税等合計	430	18,509
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△153,978	80,916



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△153,548	99,425
減価償却費	185,474	230,088
貸倒引当金の増減額(△は減少)	20	3,760
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,970	△2,112
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,000	10,000
受取利息及び受取配当金	△10,442	△10,768
支払利息	25,364	23,548
助成金収入	△61,303	△25,056
投資有価証券売却損益(△は益)	△16	△12,481
有形固定資産除売却損益(△は益)	2,695	757
売上債権の増減額(△は増加)	282,474	△47,916
棚卸資産の増減額(△は増加)	4,010	3,997
仕入債務の増減額(△は減少)	△73,993	74,949
未収消費税等の増減額(△は増加)	61,033	-
未払消費税等の増減額(△は減少)	26,949	△18,770
その他	△73,765	23,188
小計	201,922	352,611
利息及び配当金の受取額	10,437	10,763
利息の支払額	△25,511	△23,445
助成金の受取額	41,061	46,689
法人税等の支払額	△48	△820
法人税等の還付額	32,856	3,038
営業活動によるキャッシュ・フロー	260,718	388,836
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,000	△3,000
投資有価証券の取得による支出	△986	△3,982
投資有価証券の売却による収入	28	20,901
有形固定資産の取得による支出	△138,751	△193,948
無形固定資産の取得による支出	-	△465
貸付けによる支出	△400	-
貸付金の回収による収入	1,741	1,337
保険積立金の積立による支出	△4,839	△4,839
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,207	△183,995
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	650,639	400,516
長期借入金の返済による支出	△480,038	△493,604
リース債務の返済による支出	△80,567	△68,879
配当金の支払額	△12,639	△12,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	77,393	△174,585
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	191,903	30,256
現金及び現金同等物の期首残高	1,342,011	1,710,079
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,533,915	1,740,335

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に係る会計上の見積り)

前事業年度の財務諸表において記載した、新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定に重要な変更はありません。